

(2) ワゴンタクシーの見直しについて

【明星ルート】

問題点	前回までの調整内容	検討結果	備 考
バックアップ車両での対応が頻繁であり信頼性に欠ける。	コンピューターやマイクロバス（ショートタイプ）の導入を検討する。	コンピューター（15人乗り）の導入に向けて詳細な調整を行う。	
不規則なダイヤのため利用しづらい。	ルート変更により1時間10分のラウンドダイヤを設定する。また、始終発の整合から、最終便の高幡不動→明星大学間を増便する。	ルート変更により川辺堀之内地区での運行が廃止となるが、同地区を運行するミニバス川辺堀之内路線は市立病院、市役所へアクセスしていないため、経路変更は同地区へのサービス低下となる。また、ラウンドダイヤ化による運行時間の調整から最終便の高幡不動駅→明星大学間を増便しても、それ以前の市立病院～モノレール高幡停留所利用者には終便繰上げとなり、同様にサービス低下となる。	豊田駅舎のバリアフリー化や周辺の道路整備が進捗した段階でミニバス川辺堀之内路線の乗り継ぎ制度等を検討し、その結果により明星ルートの経路変更を検討する。ラウンドダイヤについては、別途検討とする。

【平山ルート】

現 状	前回までの調整内容	検討結果	備 考
平均利用人数が少ない。	車両の小型車（乗用車タイプ）導入を見送り、経費削減策を検討する。	今年度の利用者数（11月まで）が前年度同月までから約7%増加しているため、利用実態等を調査検討する。	経費削減策は、引き続き検討する。
不規則なダイヤのため利用しづらい。	ルート変更の実施は困難であるため、ダイヤ調整等を検討する。	各停留所において、1時間20分ラウンドなどで分単位を揃えることにより分かりやすさを表現するよう調整する。	運行事業者と調整する。ルートについては、豊田南土地区画整理の進捗を踏まえて検討する。